



## 地域の温かさで生徒の笑顔を作る！ 2025年秋民泊の報告と2026年春・秋の受け入れに向けて

今秋も、受入家庭の皆さんの温かいご協力により、関東圏から訪れた高校4校・746人の生徒を無事に迎えることができました。90軒ものご家庭に協力いただき、生徒たちは「本当の家族になれた気がする」「帰るのが寂しい」と涙ながらに別れを惜しむほど濃密な交流となりました。また、事後アンケートでは、本市での民泊の満足度は10点満点中9.3点と高い評価をいただきました。

実際の生徒の声として、「震災の話を聞いて、ニュースとは全く違う“重さ”と“希望”を感じた」「最初は不安だったけど、最後には帰るのが寂しいくらい楽しくて、また陸前高田に来たい」といった声が寄せられました。

民泊は生徒と地域がともに豊かになる貴重な時間となっています。受入家庭の皆さんからも、「若者から元気をもらった」「他の家庭とのつながりが増えた」といった声がありました。

### 「第20回オーライ！ニッポン大賞」において、内閣総理大臣賞を受賞しました！

このたび、認定NPO法人SETが「第20回オーライ！ニッポン大賞」において、最高賞である内閣総理大臣賞を受賞しました。



「オーライ！ニッポン」は、都市と農山漁村の間の往来を盛んにすることで、日本を元気にしようという国民運動です。SETの取り組みは、震災復興から始まり、民泊事業に加えて、大学生が地域で活動するプログラムを通じ、若者が地域に入り、経験を次の世代へとつなぐ「人材の再生産」のモデルとして高く評価され、審査委員からは「都市と農山漁村の共生・対流の新たなモデルである」との講評をいただきました。

本受賞は、これまでSETの活動を支えてくださった市内の皆さん、受入家庭の皆さんのお力添えによるものです。引き続き民泊をはじめとする地域交流活動への参加をよろしくお願いします。

### 2026年度 修学旅行民泊 受入一覧(予定)

#### 春の受け入れ

4月23日(木)、24日(金)	仙台市立西山中学校 (128人)
5月13日(水)、14日(木)	仙台市立沖野中学校 (115人)
5月21日(木)、22日(金)	仙台市立広瀬中学校 (294人)
5月28日(木)、29日(金)	江東区立大島西中学校 (97人)
6月3日(水)～5日(金)	鎌倉市立御成中学校 (111人)
6月11日(木)、12日(金)	お茶の水女子大学附属中学校 (112人)

#### 秋の受け入れ

9月3日(木)、4日(金)	利府町立利府中学校 (155人)
10月14日(水)、15日(木)	関東第一高等学校 (135人)
10月20日(火)～22日(木)	神奈川県立新栄高等学校 (359人)
10月25日(日)、26日(月)	神奈川県立海老名高等学校 (330人)
11月4日(水)～6日(金)	東京都立竹早高等学校 (274人)
11月9日(月)、10日(火)	日本大学第三高等学校 (150人)
11月12日(木)、13日(金)	神奈川県立平塚江南高等学校 (200人)

### 民泊の魅力を伝える展示・相談会を開催

2月21日(土)、22日(日)の2日間、アバッセたかたパブリックスペースで「民泊フェア」を開催します。民泊を紹介する写真展示や受け入れに関する疑問や不安に答える相談会を行います。「どんなことをするのか」「自分の家でもできるのか」といった質問も大歓迎です。どなたでも気軽にお越しください。

併せて、SETのプログラムに参加中の海外の学生が、本市の魅力を紹介する展示も予定しています。

問い合わせ先 認定NPO法人SET(担当：民泊事務局 吉原) ☎0192(47)5747



### 認め合いの心を持って

## 第44回全国中学生人権作文コンテストで 協議会長賞を受賞しました

SDGs GOAL 10 人や国の不平等をなくそう

SDGs GOAL 16 平和と公正をすべての人に

第44回全国中学生人権作文コンテスト岩手県大会水沢支局地区大会において、佐藤美空さん(高田第一中1年)と臼井香詞さん(高田東中1年)の2人が協議会長賞を受賞しました。

本コンテストは、日常生活で得た体験に基づく作文を通じて、人権尊重についての理解を深めることを目的に昭和56年度から実施されています。

「個性はパズルのピース」と題して、見た目で判断せず偏見を持たないで人と接することの大切さを訴えた佐藤さん。外国人だけでなく地域で生活する全ての人にとっての「共生社会とは何か」という問いに焦点を当てた内容が評価されました。

「戦い続ける同世代へ」と題して、大規模な軍事衝突により被害が出ているガザ地区のニュースをきっかけに作文に取り組んだ臼井さん。世界では戦争で今なお苦しんでいる同じ世代がいること、他人事にしていけない「戦争と人権」という平和への願いを訴えました。



右から2番目が佐藤さん



右から2番目が臼井さん

問い合わせ先 市役所まちづくり推進課生活環境係(内線122)

教えて！  
定期連載

SDGs

その先の笑顔のため、いまできること

SDGsとは？

自分の子どもや孫たちが暮らす未来に、住みやすい地球(世界)を残すため掲げられた全世界の人が取り組むべき目標

あなたもぜひSDGsに取り組んでみませんか？

本市は、令和元年(2019年)7月に「SDGs未来都市」に県内で初めて選定されました。「その先の笑顔のため、いまできること」編では、本市でSDGsの達成に向け積極的に取り組んでいる人・団体、関連イベントなどを紹介しています。

SDGs GOAL 4 質の高い教育をみんなに

SDGs GOAL 10 人や国の不平等をなくそう

SDGs GOAL 16 平和と公正をすべての人に

SDGs GOAL 17 パートナリシップで目標を達成しよう

## 多様性について理解を深めるワークショップを開催しました

市では、「ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり」を推進することを目的として、障がいの有無や価値観の違いなどの多様性について理解を深める体験型ワークショップを1月27日(火)と28日(水)の2日間、市内の両中学校で開催しました。

高田東中学校で行われたワークショップには、1年生約60人が参加。障がいのあるアーティストの個性的な色使いや表現方法を学んだ後に、手や歯ブラシ、ボールなどを画材として使って「自分らしさ」をアートで表現しました。



ワークショップの様子



思い思いの自分らしさを表現しました



高田第一中学校の様子はこちらから

